平成３０年度　図書館経営計画

廿日市市立七尾中学校

１　学校教育目標

ふるさとに誇りを持ち，主体的に感じ考え行動できるグローバル社会を切り拓く人間の育成

２　研究主題

グローバル社会に求められる、新たな知・価値を創造する「話し合う力」の育成
―　他者とのつながりや必然性のある　話し合う活動を通して　―

３　本校の図書館教育の目標

（１）読書の喜びや楽しさを知って自ら読み，読書を通して人間を尊重する心と豊かな感性を持つ生徒を育成する。
（２）自ら調べ，多くの情報の中から適切なものを選択し，活用する力を持つ生徒を育成する。

４　収集方針，資料整理法

この目標を達成するために次のような収集方針，資料整理法を定める。
○　より豊かな感性を養うことのできる資料。
○　学習に適切に役立つ資料。
○　生徒の読む意欲を喚起させる資料。

（１）部門別収集方針
①　文学（９）
　ア　古典から創作まで幅広くそろえる。
　イ　教科書の読書案内にあるものはそろえる。
②　ノンフィクション（　０～８　）
　ア　基本目録を参考にバランスをとりつつ，適宜入れる。
　イ　シリーズ物を入れて，散逸な収集になるのを避ける。
③　逐次刊行物
　○　パンフレット，リーフレットも積極的に集める。
　○　参考図書
　・　百科事典については，１０年ごとの新規購入を目標にする。
　（備考：平成１８年度ポプラディア，平成２１年度学研学習事典購入）
　・各種専門事典についても，多種のものを入れる。
　・年鑑（現代用語の基礎知識，理科年表，図会を入れる）

（２）　資料整理法

・日本十進分類法（NDC）新訂９版による。
・３ケタ分類，著者名はカタカナ（苗字の頭文字）。
・シリーズ物（例・岩波ジュニアブックス）は，NDC と異なっても同一の書架に並べる。
・平和・郷土・職業・絵本のコーナーは別置する。
・百科事典，参考図書，辞典類のコーナーは別置する。

（３）　廃棄基準(図書の払い出し)

・　廃棄払い出し…学校図書館法の基準に沿って行う。
・　毀損払い出し…著しく汚れている本，破損の激しいものは〔１〕の基準未満の年数でも行う。
・　亡失払い出し…３年間行方不明になっている本。
　※　その他の場合は，適宜行う。

５　読書教育

○　朝の１０分間読書

・全校一斉で朝の１０分間読書に取り組む。（週４日。１日は朝会）朝読書の１０分間，自分の好きな本を静かに読む。本の用意ができていない生徒に対しては，学級文庫の本を用意しておく。

・集団読書用のテキストを各学年に１０種類程度用意し，各クラスで年に２回,学級で同じ本を読む機会を設ける。読書の幅を広げる目的で行う。その後，班で読書会を持つ。（朝読書４回分利用）

・ビブリオバトルを行う。お互いの推薦本を紹介し合うことで,多くの本に出会う機会をつくり，読書意欲を高める。（朝読書４回分利用）

○　読書指導

・４月中の学活で，図書館オリエンテーションを行う。その際，利用方法やマナーとともに，読書活動推進員がブックトークなどの方法で本の紹介等をする。

・行事や教科学習に関連したコーナーの設置で図書を身近なものにしていく。

・新規購入のリクエストを募り，購入の参考にする。

○　図書委員会の活動を通して

・広報活動　新しく入った本の紹介を中心としたポスターの作成。

・文化祭の展示として，全生徒で本に関連したしおりを作成する。

６　学習活動と図書館の関わり

○　各教科で図書館での授業や資料を利用した授業を呼びかけて利用を増やす。

	第１学年	第２学年	第３学年
4月	・感じたことを話し合おう（美） ・読書活動の充実に向けて（学）	・読書活動の充実に向けて（学）	・読書活動の充実に向けて（学）
5月	・漢和辞典の使い方（国）	・短歌のリズムで表現しよう（国）	・言葉の移り変わり（国）
6月	・画数，筆順（国） ・地域を理解する（総）	・近畿地方について調べる（総）	・四字熟語（国）
7月	・本の世界を楽しもう（国）	・本で世界を広げよう（国）	・慣用句（国） ・わたしたちの生活と現代社会（社） ・表現学習（総）
9月	・伝統文化に触れる（国） ・地域を理解する（総）	・伝統文化を楽しむ（国）	・伝統文化に楽しむ（国）
10月	・漢字の部首（国） ・感じたことを話し合おう（美）	・調べて考えたことを伝えよう（国）	・感じたことを話し合おう（美）
11月	・語の意味と文脈（国）	・多義語（国）	・紛らわしい漢字（国） ・現代の民主政治と社会（社）
12月	・漢字の成り立ち（国） ・世界のさまざまな地域の調査（社） ・広島を理解する（総）	・同訓異字（国）	・和語，漢語，外来語（国） ・幼児に読ませる絵本（家）
1月	・感じたことを話し合おう（美） ・職業調べ（総）	・同音異義語（国）	・わたしたちのくらしと経済（社）
2月	・新しい常用漢字（国） ・感じたことを話し合おう（美）	・新しい常用漢字（国） ・身近な地域の調査（社） ・職場体験学習（総）	・漢字いろいろ（国）
3月			

※国語辞典と漢和辞典の活用（国）　英和辞典と和英辞典の活用（英）＜通年＞

7　年間活動計画

４月	○図書館開館に向けての準備 ○図書館オリエンテーション ○「こども読書の日」の取組み	・図書館教育推進計画の立案 ・予算案の作成 ・利用指導，個人カードの作成 ・図書委員会の指導(カウンター当番，朝読の動きなど) ・学級文庫の貸し出し ・十進分類法や蔵書などの紹介 ・学校図書館の利用の仕方やマナー ・「こども読書の日」の取り組み準備・実施 ・図書館便りの発行
５月	○貸し出し数を増やす。 ○総合的な学習の時間など，授業での利用を増やす。	・購入希望図書のアンケートをとり，購入する（随時） ・図書の発注（随時） ・図書委員会作成のポスターなどによる蔵書の紹介 ・学習に関連した本のコーナーの設置 ・図書館便りの発行
６月	○集団読書とその後の読書会で読書の幅を広げる。	・集団読書 ・図書館便りの発行
７月	○夏休み中の読書に役立つように働きかける。	・夏休みの読書参考おすすめ本コーナーの設置 ・学級文庫の回収 ・蔵書整理 ・図書館便りの発行
８月		
９月	○読書週間に向けて，図書の利用について広報をする。	・新刊紹介 ・学級文庫の貸し出し ・文化祭に向けてしおり作り ・図書館便りの発行
１０月	○文化祭に向けて委員会の取り組みをする。	・文化祭の展示準備 ・図書館便りの発行
１１月	○文化祭で委員会の取り組みをする。 ○集団読書とその後の読書会で読書の幅を広げる。	・文化祭でしおりの展示 ・集団読書 ・図書館便りの発行
１２月	○冬休み中の読書に役立つように働きかける。	・冬休みの読書の参考おすすめ本コーナー設置 ・図書館便りの発行 ・学級文庫の回収
１月	○学習活動や授業に図書館が利用されるように働きかける。	・進路に関する図書のコーナー設置 ・学級文庫の貸し出し ・新刊紹介 ・図書館便りの発行
２月	○ビブリオバトルで生徒同士本の紹介をする。	・ビブリオバトル ・図書館便りの発行
３月	○年間活動の反省をする。 ○来年度に向けての準備をする。	・学級文庫の返却 ・蔵書整理 ・図書館便りの発行

８　推薦図書

1学年	『ガラスのうさぎ』『戦争童話集』『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか』『バッテリー』『哲夫の春休み』『星を教えて』『兵士のハーモニカ』『トムは真夜中の庭で』	『頭のいい江戸のエコ生活』』『常識の世界地図』『道は生きている』『ことばあそびえほん』『カラフル』『鬼の橋』	『二十四の瞳』『サアカスの馬』『夏の庭』『西遊記』『盗まれた記憶の博物館』『銀の匙』
2学年	『わたし８歳、カカオ畑で働き続けて。』『イクバルの闘い』『このＴシャツは児童労働で作られました。』『半分のふるさと』『マララ』『あなたはそっとやってくる』『今昔ものがたり』『楽隊のうさぎ』『風が強く吹いている』『時の旅人』『穴　ＨＯＬＥＳ』	『科学の考え方･学び方』『一瞬の風になれ』『早雲の軍配者』『西の魔女が死んだ』	『吾輩は猫である』『山椒魚』『おれのおばさん』『兎の眼』『三国志』『戦火の馬』
3学年	『知らざあ言って聞かせやしょう』『色を奏でる』『桜のいのち庭の心』『町工場・スーパーものづくり』『しばわんこ和のこころ』『日本美術１０１鑑賞ガイドブック』	『善悪ってなあに？』『新１３歳のハローワーク』『民主主義という不思議な仕組み』『孤独と不安のレッスン』『世界を信じるためのメソッド』	『山椒大夫』『高瀬舟』『名人伝』『夕鶴』『潮騒』『友情』『小僧の神様』『伊豆の踊子』

9　年間読書目標冊数

１学年	１５冊	２学年	１５冊	３学年	１５冊